

児童相談所関連研修「子ども家庭福祉行政組織運営研修」

【実 施 日】	11月18日（月）、25日（月）
【受講決定者数】	41名
【受講生の声】	・共感疲労についてアンテナを高く組織をマネジメントしていく必要性を感じた。一方で、SVの立場は現在管理的機能を強く求められる状況にあるため、職員のサポート役として適切な職位であるかについては疑問がある。組織内での各職位において、その役割の質的な設定があると安心してその役割を全うできると思うが、支持的役割は「人柄」による「業務外のこと」と見なされがちなので、まずはそのあたりの認識を係長級以上の職位が理解する必要があると感じた。 ・児童相談所の業務において、国家賠償法の裏付けがあることを職場内に周知する必要性を感じた。また要保護児童対策地域協議会を地域でどのように活性化し、柔軟な地域の支援体制を築くのが課題であると思われた。 ・支援者支援及び危機管理等の観点から組織運営の在り方について検討したり、意見交換ができ、大変充実した研修機会となりました。持続可能な組織にしていくために、支援者支援の構築と、危機管理・予防については、他の係長級職とも議論を重ねながら、引き続き取り組みたいと思います。